

第6回 能代市総合計画市民協働会議

日 時 令和元年10月28日(月)
午後6時30分～9時15分
場 所 能代市役所 会議室9・10

概 要

1 開 会

山内委員長から、会議の開催にあたってあいさつがありました。

2 協 議

(1) 全体協議

配布資料及び協議の進め方について

配布資料及び協議の進め方について、事務局から説明がありました。

(2) 分科会協議

分科会ごとに、まちづくり提案書のたたき台をもとに提案内容が協議されました。

(3) 全体協議

①各分科会の協議結果について

各分科会から、協議した提案内容の発表がありました。

②まちづくり提案書の最終調整について

各分科会からの提案内容について全体協議が行われ、特に質疑はなく、まちづくり提案書の成案として了承されました。

③まちづくり評価書及び提案書の提出について

まちづくり評価書及び提案書の市への提出について、後日、正副委員長及び正副分科会長から市長へ手渡しすることとされました。

3 その他

事務局から、諸連絡等がありました。

【正副委員長及びアドバイザー挨拶】

(山内委員長より)

能代市総合計画市民協働会議として、まちづくり評価書及び提案書を完成させることができた。これは、委員の皆様の貴重な意見、活発な議論の成果であり、この大変な努力に御礼申し上げる。

地方都市が抱える問題は、基本的には同じではないかと感じているが、元気があるまちと、そうではないまちがあるような気がする。なぜそういう違いが生じるのか答えは出ていないが、一つ言えることは、目標や方針を立てたら、それを目指して粘り強く努力を続けていくことが大事だと思う。

研究者として、研究を例にとって申し上げますと、最近では、短期間で成果を求められることが多いが、10年、20年かかってから花が咲き始めるものも珍しくない。能代のまちづくりについても、始めてからすぐに目に見える効果が出るものばかりではないと思うが、我慢強く続けていけるように協力していきたい。

(佐々木副委員長より)

まちづくり評価書と提案書の作成にあたり、委員の皆様の高い当事者意識と議論を重ねた努力に心から感謝を申し上げます。

貴重な意見を話し合い、能代市が直面している課題をあぶりだして、この提案にまとめられたのではないかと思います。この提案が能代のまちを住みやすくし、市民が誇れる、自分たちがつくるより良いまちづくりに強く反映されることを願っている。

(和泉副アドバイザーより)

2年後、同じような評価と点検の作業がやってくると思うが、「2年前と変わってないね」ではなく、少しでも「2年間でなんか良くなってきたよね」という2年後なっていることを期待している。

(荒井アドバイザーより)

人口減少の中で、若年層の人口が戦後のピーク時から半分くらいになってくると、それまでの人口を前提とした仕組み自体が維持できるのかどうかという話になる。維持するなら歯を食いしばって維持しなければいけないし、もしくは、時代の流れにある程度流されて別の事を考えなければいけないこともある。そうした中では、最終的にどうしてもボトムアップが必要になってくる。

これまでの会議で交わされた地域の人でしか気づけないこと、地域の人にしかできないこと、そういったことを話していただき、市民協働会議の意義を感じるありがたい機会だった。

4 閉 会